



大阪錦繪新  
第九

大坂堂鳴中通二丁目  
卅九番地油商ひたる伊東政  
浦家内打つと泰詣に四天王寺  
へ出行り三月の十五日カ極  
樂の彼岸會に内地獄の金  
たふで油を製する大金あり留  
全ハ下男と下女へ如何とや  
誤ちてふへり縛るカ金へ薄け  
下女を即刻に抱き上ると養生  
叶はれ同日午後の七時頃息絶  
こと七氣の毒あるも此画を飛  
めとて心を用ひ給ふべし

九化記

小佐政二代  
伊東信一

川和屋

眼九一

